



平成 22 年 2 月 4 日

各 位

会 社 名 : フジ日本精糖株式会社
 代表者名 : 代表取締役社長 江口 達夫
 (コード番号 2114 東証第二部)
 問合せ先 : 執行役員管理本部本部長 福田 弘
 (TEL. 03-3667-7811)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 5 月 14 日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

1. 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の訂正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	18,000	1,000	1,100	650	23.76
今回発表予想 (B)	19,000	1,500	1,600	650	24.30
増減額 (B-A)	1,000	500	500	—	—
増減率 (%)	5.6	50.0	45.5	—	—
【ご参考】前期実績 (平成 21 年 3 月期)	17,339	1,004	1,090	382	13.99

2. 平成 22 年 3 月期通期個別業績予想数値の訂正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	14,000	900	1,000	550	20.10
今回発表予想 (B)	14,500	1,400	1,450	550	20.56
増減額 (B-A)	500	500	450	—	—
増減率 (%)	3.6	55.6	45.0	—	—
【ご参考】前期実績 (平成 21 年 3 月期)	14,469	991	1,088	464	16.98

3. 差異の理由

通期連結業績予想につきましては、売上高は第 3 四半期までの業績推移を考慮した結果、前回予想を上回る見通しであります。収益面では、営業利益及び経常利益が前回予想を大きく上回る見通しであります。これは、燃料費、管理費のコスト削減に努めたことに加え、海外原糖相場が高騰する中で堅実な原糖仕入を行ったこと、さらに持分法適用関連会社の国産甘蔗糖の生産量増加による好業績が寄与したことによるものであります。なお、当期純利益は第 3 四半期での投資有価証券評価損や匿名組合出資損失等の特別損失を考慮した結果、前回予想と変更はない見通しであります。

通期個別業績予想につきましても、連結とほぼ同様の要因により売上高、営業利益及び経常利益が前回予想を上回る見通しであります。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上